

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公開番号】特開 2005-294012 (P2005-294012A)  
 【公開日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-041  
 【出願番号】特願 2004-106877 (P2004-106877)  
 【国際特許分類】

**H 0 1 M 2/02 (2006.01)**

**H 0 1 M 2/04 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 M 2/02 A

H 0 1 M 2/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 20 日 (2007.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

外装缶の他の側面 1 1 0 b、底面 1 1 0 c 及び外装缶の開口部に溶接された封口板 1 0 3 は、電池の形状を固定し、内圧上昇時の電池の膨張を小さくする膨張抑制作用を有している。しかし、内圧が過度に高まると、図 1 3 (c) に示すように、電池外方側表面における側面 1 1 0 b、底面 1 1 0 c 及び封口板 1 0 3 が電池内方に突出するように (図 1 3 (c) の矢印方向に) 変形する。このように側面 1 1 0 b、底面 1 1 0 c 及び封口板 1 0 3 が変形すると、当該側面・底面・封口板は、もはや電池の膨張抑制作用を失い、電池の膨張が更に大きくなる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

また、上記実施例では、絶縁部材の端部を取り除き、当該部分に絶縁テープを貼り付けたが、図 5 に示すように当該部分の絶縁部材を外装缶の加工時に切削してもよい。